



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社  
コード番号 3766 URL <http://www.sdci.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 隈元 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 岡本 芳明

TEL 03-5300-7800

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,432	7.6	△41	—	△36	—	△49	—
28年3月期第2四半期	3,191	7.8	△7	—	△4	—	△41	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △48百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△14.18	—
28年3月期第2四半期	△11.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	5,511	3,659	66.4	1,046.53
28年3月期	5,298	3,798	71.7	1,060.61

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,659百万円 28年3月期 3,798百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,867	10.7	310	51.9	313	48.9	200	95.9	56.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	3,940,000 株	28年3月期	3,940,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	443,361 株	28年3月期	358,361 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	3,521,721 株	28年3月期2Q	3,581,639 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復が見られるものの、EUを中心とした海外経済の不安定感等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、企業のIT投資は堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループではM&A投資、受注確保、採用活動への投資などに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,432,955千円（前年同期比7.6%増）、営業損失は△41,059千円（前年同期は△7,328千円の営業損失）、経常損失は△36,540千円（前年同期は△4,808千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失△49,952千円（前年同期は△41,066千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 情報処理サービス事業

情報処理サービス事業につきましては、継続案件や新規案件の受注確保に注力してまいりましたが、当初見込んでいた案件受注の未達成や、企業結合における取得関連費用の影響がありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は894,785千円（前年同期比22.8%増）、営業損失△107,159千円（前年同期は△43,004千円の営業損失）となりました。

## ② システム開発事業

システム開発事業につきましては、顧客からの受注が順調に推移したことや、子会社が業績に貢献いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,330,522千円（前年同期比4.0%増）、営業利益92,637千円（前年同期比281.1%増）となりました。

## ③ アッセンブリー事業

アッセンブリー事業につきましては、主要顧客からの受注の減少があり、費用の増加が利益を圧迫しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は207,647千円（前年同期比6.1%減）、営業損失△26,536千円（前年同期は11,370千円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が△36,436千円（前年同期は△8,405千円の税金等調整前四半期純損失）となり、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△515,168千円、借入れによる収入300,000千円等により、当第2四半期連結会計期間末には2,540,832千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ△221,915千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は128,146千円（前年同期は291,276千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少388,850千円、たな卸資産の増加額△173,975千円、法人税等の支払額△40,604千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は△522,091千円（前年同期は△172,373千円の使用）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△515,168千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は172,029千円（前年同期は△184,375千円の使用）となりました。これは主に借入れによる収入300,000千円、配当金の支払額△46,561千円、自己株式の取得による支出△44,918千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日付の「平成28年3月期決算短信」にて公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社アイカムの株式を取得し子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

また、株式会社アイカムの株式を取得し子会社化したことにより、同社の投資先であるエイチ・エスサポートセンター株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,762,747	2,540,832
受取手形及び売掛金	1,254,797	960,087
商品及び製品	20,465	18,614
仕掛品	108,813	287,036
原材料及び貯蔵品	12,218	9,822
繰延税金資産	88,987	126,138
その他	49,094	61,639
貸倒引当金	△879	△868
流動資産合計	4,296,246	4,003,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	370,128	407,140
減価償却累計額	△240,348	△255,514
建物及び構築物 (純額)	129,779	151,626
機械装置及び運搬具	18,342	17,852
減価償却累計額	△15,692	△15,770
機械装置及び運搬具 (純額)	2,649	2,082
土地	102,848	107,078
リース資産	—	21,140
減価償却累計額	—	△8,712
リース資産 (純額)	—	12,427
建設仮勘定	—	6,189
その他	218,942	230,073
減価償却累計額	△196,675	△203,975
その他 (純額)	22,266	26,098
有形固定資産合計	257,545	305,502
無形固定資産		
のれん	231,347	599,009
ソフトウェア	17,630	18,361
その他	10,080	10,003
無形固定資産合計	259,058	627,374
投資その他の資産		
投資有価証券	40,625	80,008
長期貸付金	3,188	4,405
繰延税金資産	201,566	203,162
その他	240,310	287,268
投資その他の資産合計	485,690	574,844
固定資産合計	1,002,294	1,507,722
資産合計	5,298,541	5,511,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,246	13,853
1年内返済予定の長期借入金	—	99,996
未払金	343,055	415,287
未払法人税等	45,538	36,549
賞与引当金	201,475	207,092
受注損失引当金	18,859	3,464
その他	197,516	201,049
流動負債合計	829,691	977,291
固定負債		
長期借入金	—	166,672
役員退職慰労引当金	42,470	45,726
退職給付に係る負債	623,181	630,552
資産除去債務	—	2,833
その他	4,475	28,609
固定負債合計	670,126	874,394
負債合計	1,499,818	1,851,686
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,327,687	3,231,173
自己株式	△153,218	△197,928
株主資本合計	3,801,558	3,660,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,166	10,529
退職給付に係る調整累計額	△12,002	△11,523
その他の包括利益累計額合計	△2,835	△994
純資産合計	3,798,722	3,659,340
負債純資産合計	5,298,541	5,511,026

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,191,885	3,432,955
売上原価	2,614,376	2,811,708
売上総利益	577,508	621,247
販売費及び一般管理費	584,837	662,306
営業損失(△)	△7,328	△41,059
営業外収益		
受取利息	137	81
受取配当金	1,302	747
助成金収入	—	3,322
持分法による投資利益	—	282
その他	1,089	839
営業外収益合計	2,530	5,274
営業外費用		
支払利息	10	546
自己株式取得費用	—	208
営業外費用合計	10	755
経常損失(△)	△4,808	△36,540
特別利益		
固定資産売却益	—	324
受取保険金	880	—
特別利益合計	880	324
特別損失		
固定資産除却損	255	220
保険解約損	4,221	—
特別損失合計	4,477	220
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,405	△36,436
法人税等	32,661	13,516
四半期純損失(△)	△41,066	△49,952
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,066	△49,952



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△41,066	△49,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,178	1,362
退職給付に係る調整額	△1,236	478
その他の包括利益合計	△4,415	1,841
四半期包括利益	△45,482	△48,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,482	△48,111
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,405	△36,436
減価償却費	17,062	19,791
のれん償却額	20,655	22,311
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,375	2,835
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,175	3,255
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△173	△10
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,400	△15,394
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,760	8,061
受取利息及び受取配当金	△1,440	△829
支払利息	10	546
売上債権の増減額(△は増加)	457,266	388,850
未払金の増減額(△は減少)	△120,221	△31,451
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,660	△173,975
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,994	△9,392
その他	△1,185	△9,689
小計	289,472	168,471
利息及び配当金の受取額	1,437	826
利息の支払額	△10	△546
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	375	△40,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	291,276	128,146
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,237	△6,872
無形固定資産の取得による支出	△1,010	△2,582
有形固定資産の売却による収入	4,218	324
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△160,219	△515,168
その他	875	2,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,373	△522,091
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入れによる収入	—	300,000
借入金の返済による支出	△137,814	△33,332
自己株式の取得による支出	—	△44,918
配当金の支払額	△46,561	△46,561
その他	—	△3,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,375	172,029
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,472	△221,915
現金及び現金同等物の期首残高	2,823,180	2,762,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,757,707	2,540,832

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	情報処理サービス	システム開発	アッセンブリー	合計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	728,853	2,241,812	221,220	3,191,885	—	3,191,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	728,853	2,241,812	221,220	3,191,885	—	3,191,885
セグメント利益又は損失(△)	△43,004	24,304	11,370	△7,328	—	△7,328

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「システム開発事業」セグメントにおいて、平成27年7月1日にシェアードシステム株式会社の株式を取得し同社を連結子会社としたことに伴い、当第2四半期連結会計期間にのれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は250,043千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	情報処理サービス	システム開発	アッセンブリー	合計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	894,785	2,330,522	207,647	3,432,955	—	3,432,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	894,785	2,330,522	207,647	3,432,955	—	3,432,955
セグメント利益又は損失(△)	△107,159	92,637	△26,536	△41,059	—	△41,059

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。